

40億円無担保社債発行

大栄不動産 資金調達を多様化

大栄不動産（東京都中央区、石村等社長、03・3244・0625）は、公募無担保社債を発行する。3年と10年の社債で、起債総額は40億円。調達した資金は借入金の返済に充てる。信用力の高まりを受け、借り入れの長期安定化と資金調達の多様化を図る。未上場の不動産会社が無担保普通社債を発行するのは珍しい。

今回、第4回とし3年債、第5回として10年債を発行、13日を払込日とする。発行金額と利率はそれぞれ、3年債が30億円で0・4％、10年債が10億円で1％。主幹事証券会社はみずほ証券、幹事証券会社はむさし証券（さいたま市大宮区）。未上場の不動産会社で無担保社債を発行するのは、大栄不動産のほか森ビルなど4社のみ。大栄不動産は、未上場ながら有価証券報告書を提出しており、また日本格付研究所（JCR）から格付けを取得。情報開示の体制が整っていることから社債発行につなげた。大栄不動産は埼玉県や東京都を地盤にビル賃貸や駐車場、住宅・マンション開発を展開。現在、さいたま市大宮駅東口の再開発にも取り組んでいる。

大栄不動産は、未上場の不動産会社が無担保普通社債を発行するのは珍しい。今回、第4回とし3年債、第5回として10年債を発行、13日を払込日とする。発行金額と利率はそれぞれ、3年債が30億円で0・4％、10年債が10億円で1％。主幹事証券会社はみずほ証券、幹事証券会社はむさし証券（さいたま市大宮区）。未上場の不動産会社で無担保社債を発行するのは、大栄不動産のほか森ビルなど4社のみ。大栄不動産は、未上場ながら有価証券報告書を提出しており、また日本格付研究所（JCR）から格付けを取得。情報開示の体制